

●元氣印企業

シクロケム 環状オリゴ糖の技術力を各種製品に生かす

【元氣ポイント】

- ★CDを中心とした独自の技術・開発力
- ★豊富な臨床データ

(株)シクロケム(本社・神戸市中央区)は、ドイツワッカーケミー社のスペシャリティ・ファインケミカル製品を取り扱う日本総代理店として2002年7月に設立された。神戸に本社とシクロデキストリン応用ラボを設置し、様々なシクロデキストリン包接体製品や技術開発、及びビジネス開発に注力。以来、シクロデキストリンをベースとするナノテクノロジーを活かし、食品・健食分野や化粧品・衛生品分野など広範囲に導入され毎年好調に業績を伸ばす。

同社技術力の根幹にあるのがシクロデキストリン(CD)。CDは、どうもろこしや馬鈴薯の澱粉から酵素反応によって合成されるブドウ糖が構成単位の環状オリゴ糖で、その内部空洞の中にさまざまな分子を取り込む性質を持つ。これを包接化現象といい、その内径は0.5~1.0ナノメートルで「世界で一番小さいカプセル」とも呼ばれる。この包接化現象を利用すると、油性物質を水に溶かしたり、物質の安定性を高めたり、臭いや味をマスキング、反対に香料の徐放効果などに活用できる。CDは結合するグルコースの数によってα-CD、β-CD、γ-CDと区別され、それぞれに特徴を持つ。同社ではすべてCDを扱い、その目的に応じた的確な効果が期待できるCDを十二分に活用する。

食品・健食分野においてはCoQ10など安定性が弱い成分をγ-CDで包接体とすると、「吸収性や持続性を高め、酸素や他物質との配合で分解されるCoQ10

の弱点も補うことが期待される」という。また、α-CDには、コレステロール減少効果、血糖値上昇抑制効果、便秘改善効果、アレルギー改善効果などが期待されそれらを動物試験やヒト臨床試験などで確認。特許を出願し健康食品にも活用し始めている。

同社では臨床データの構築にも余念がなく、包接化CoQ10では、「筋肉保護作用」、「肝機能改善作用」、「美肌作用」、「持久力向上作用」、「肝機能改善作用」などを発表している。「いずれも1日摂取量が20~30mgで効果が示され、包接化CoQ10の吸収性や持続性を証明する一端になったと自負している」という。こうした研究成果は海外でも評価され始めている。

また、関連会社の(株)コサナ(東京都中央区)では、シクロケムの技術力をサプリメントに生かした商品を展開する。包接化CoQ10をサプリメントにした『ナノサプリシクロカプセル化CoQ10』は発売以来、DGSや通販でリピーターを獲得、ロングラン商品として人気が高い。最近ではニュージーランド(NZ)の特産物である抗菌性の高いマスカハニーの展開を開始。マスカハニーの新たな抗菌作用として注目される「MGO」マークを進めるマスカヘルズ社の輸入総代理元として海外で構築されるエビデンスを生かしつつ展開。「将来的にはCD技術を取り入れた商品の開発も進める」としている。



関連会社のコサナが展開するサプリメント